

(数学I) 学習指導案

					授業者	
学級	1年 7組	教室	232教室	日時	平成22年 6月 15日 (火) 1時限	
単元	第1章 数と式			使用教科書	新数学I (東京書籍)	
指導目標	文字を含んだ式について、用語や式の整理の仕方などを確認する。また、整式どうしの和や差の計算、指数法則や分配法則を利用して積の計算を行う。さらに、整式の展開を公式を利用してより速く、能率的に計算することを学ぶとともに、公式の逆を用いて整式をいくつかの式の積の形に表すことを学ぶ。			指導計画	第1節 整式 3 整式の乗法・・・・・・・・・・3時間 4 乗法公式・・・・・・・・・・4時間 5 因数分解・・・・・・・・・・4時間 (本時はその3時間目) 復習問題・・・・・・・・・・1時間	

本時の指導

主題(教材)	2次式の因数分解 (たすきがけ)			
前時の課題	導入のための問題 (プリント) を解いてくる。			
目標	たすきがけの考え方や因数分解の公式とのつながりを確認するとともに、その有用性を理解して、たすきがけを用いて因数分解ができるようにさせる。			
指導過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の方法・規準等
	(導入) プリント問題の解答を確認する。	10	・問題解決の手順を正しく確認させられるように解説する。	・数のあてはめや解答する手順が正しく理解できているか。 <知識・理解>
	(展開) 1 たすきがけの考え方や因数分解公式との関連について確認する。	10	・プリントで学習した「数のあてはめ」が、因数分解公式における式の項と関連していることに気付かせる。	・公式の項の係数と、たすきがけの考え方を関連づけることができているか。 <数学的な見方や考え方>
	2 例21の解説を聞く。 3 問24を確認する。	5 5	・問題を解決する数のあてはめ方が1通りだけ見つかることを理解させる。 ・たすきがけの形を作る際に、係数を並べる順番に注意させる。	・あてはめた数が因数分解した式につながることを理解できているか。 <知識・理解> ・導入で確認した考え方を利用できているか。
	4 問25、練習問題を解く。 (整理) 本時のまとめと次時の内容を確認する。	15 5	・机間指導により、生徒の理解度を把握する。 ・本時のまとめと次時の課題を確認させる。	<表現・処理> ・意欲を持って問題解決に取り組んでいるか。 <関心・意欲・態度>
備考	学科・類型 (商業科) 男子 (16人) 女子 (24人) 計 (40人)			